

**令和6年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）**  
**第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組**

| 教科   | 教科の特質を踏まえた課題                                                                                                      | 課題解決のための授業改善策                                                                                                                                                                                                                                           | 達成の状況 |     |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|
|      |                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                         | 2学期末  | 年度末 |
| 国語   | ①自分の考えや感想をもつことへの個人差が大きくとも、お互いの意見の交流が成立すること。<br>②段落を意識して文章を書くこと。（はじめ、中、おわり）<br>③会話文の書き方等、原稿用紙の使い方や表記の間違いに自分で気付くこと。 | ①短くとも自分の意見を書く習慣を付けさせ、ペアやグループ学習で友達の意見を聞き、交流する中で様々な意見に触れさせる。【対話】<br>②段落ごとに何を書くのか分かりやすく示し、一段落ずつ確認をする。【表現】<br>③原稿用紙の使い方をプリントで示したり、書く練習をしたりして、表記の基礎を身に付けさせる。【表現】                                                                                             | B     | A   |
| 算数   | ①長さや水のかさの単位換算が確実にできること。量感を身に付けること。更に、学習したことを実生活に生かすこと。<br>②問題文の内容から適切に場面をイメージし、立式すること。                            | ①実際に操作を伴う活動を取り入れるとともに、児童にとって身近なものから問題を提示していくことを通して、実感を伴って量感をもてるようにする。【発見】<br>②文章の内容を確認してから問題演習を行う。【対話】<br>②文章問題の演習場면을増やし、文章を読んで問題を解く経験を増やす。【表現】                                                                                                         | B     | B   |
| 生活   | ①学習したことや観察したものに対して疑問をもつこと。（なぜ、〇〇なのか）<br>②観察対象に自分との関わりを感じて表現すること。                                                  | ①観察の視点を明確に示し、だれもが同じ見方で観察ができるようにする。さらに、新たな気づきや発見について表現したものを取り上げ、全体で共有する。【対話】<br>②学習前に、その単元への思いや願いを意識させ、学習内容を自分事として捉えられるような時間を設定する。【発見】                                                                                                                   | B     | B   |
| 音楽   | ①曲のよさや演奏の楽しさを見出しながら、演奏したり、聞いたりできるようにすること。<br>②音楽表現をするための楽器および歌唱の技能を身に付けること。                                       | ①曲を聞いて感じたことを言葉にしたり、体で表現したりしながら、曲のよさを感じとる活動の場を意図的に取り入れる。【発見】<br>①友達の演奏に耳を傾け友達の演奏のよさを言葉にしたり、自分の演奏と友達の演奏を比較したりして、演奏の仕方を工夫していけるような場を設定する。【対話】<br>②鍵盤ハーモニカの演奏の際、音階や指使い、タンギングなどを丁寧に繰り返し指導する。個々の必要に応じて、発展的な演奏に取り組ませたり、スモールステップで個別指導を取り入れたりと、個別最適な活動の充実を図る。【決定】 | B     | B   |
| 図画工作 | ①材料の特徴を十分に感じ取り、表し方の工夫をすること。<br>②様々な題材で作品作りをしようとし、見方や感じ方を広げること。                                                    | ①材料との出会いを大切にし、特徴を感じられる時間を十分に取る。また、表し方の例を多く示し、それらを試行したり選択したりする時間を確保する。【発見】<br>②鑑賞の時間や友達と交流する時間を計画的に取り、いろいろなアイディアに触れさせる。【交流】                                                                                                                              | B     | A   |
| 体育   | ①基本的な動きの習得をすること。<br>②友達の動きの良さなどを見つけ、運動遊びの行い方の工夫をすること。                                                             | ①授業の導入で、簡単な動きのできる運動遊びなどを取り入れ、継続して練習する。【発見】<br>②ゲーム形式の運動遊びにおいて、作戦タイムを設定し、ルールや作戦について意見を出し合う場を必ず設定する。【交流】                                                                                                                                                  | B     | A   |

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。